



**知夫小中学校**  
 Tel 08514-8-2015  
 Fax // 8-2312  
 〒684-0100  
 知夫村 1053-1  
 [HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

## 隠岐郡中学校体育大会

男子テニス部顧問 永島いず陸  
 六月十日・十一日に海士町運動公園で行われた隠岐大会に参加しました。隠岐大会は三年生にとって節目の大会でもあります。本番までの練習では、緊張感をもって取り組みむことができていました。本番では、初戦を全ペアが勝利するなど、今までの練習の成果を発揮する姿が見られました。しかし、目標とする優勝には届かず悔しい結果となりました。試合中弱気になり思うようなプレーができなくなることもあったので、県総体・新人戦に向けてメンタルの面からも鍛えていきたいと思えます。応援ありがとうございました。

中学部三年 山根 暁人  
 六月十日・十一日に行われた郡総体の結果は、団体戦は三位決定戦で負け四位、個人戦は二位でした。出雲地区で見つけた課題を今までの練習に生かし、この郡総体に出場しました。しかし、どちらか一位を取ることができず悔しかったです。私たちのペアは、個人戦では県総体に出場できるので、郡総体での課題をこれから練習に生かし、より上手くなって県総体に出場したいです。応援ありがとうございました。



**【学校教育目標】**  
 未来を切り拓く  
 心豊かでたくましい  
 知夫の子どもを  
 育成する

**【めざす子ども像】**  
 ・自ら学ぶ子ども  
 ・共に生きる子ども  
 ・たくましく  
 生きる子ども  
 ・ふるさとを  
 愛する子ども

女子テニス部顧問 堀川 洋平  
 今回の隠岐大会が、新入部員を含めた部員全員で戦う初めての大会となりました。初めての公式戦に緊張するメンバーも多い中、キャプテン、副キャプテンを中心に二年生が本心に良く引張っていたと思います。本番ではどの学校よりも大きな声を出し、格上の相手とも堂々と戦うことができました。結果は振るわなかったものの、今後に向けてたくさんの課題に気づくことができる実りある大会となりました。当日は、たくさんの方にご声援をいただきありがとうございました。

女子テニス部の結果は、個人戦では一ペアがベスト八に入り、県大会に出場することができました。残り二ペアは、どちらも一回戦敗退でした。団体戦では海士中学校に敗れ、一回戦敗退と、悔しい結果となりました。試合以外の部分では、マナーを良くし、大きな声であいさつするなど、ふるまいに気をつけながら過ごすことができました。私たちは、今のメンバーのままで新人戦も戦うことができるので、優勝を目標に頑張っていきたいです。たくさんの方の応援ありがとうございました。



小学5・6年生による壮行式  
 『フレー フレー 知夫中!!』

### 郡総体(ソフトテニス)結果

- 男子個人 板橋・山根組 (第二位) ☆
  - 三浦・濱組 (三回戦敗退)
  - 足立・佐藤組 (二回戦敗退)
  - 第4位
  - 男子団体 山根・高倉組 (初戦敗退)
  - 萬・野間組 (初戦敗退)
  - 山本・高田組 (第五位) ☆
  - 女子個人 初戦敗退
  - 女子団体 初戦敗退
- ☆印は七月二十一日・二十二日に江津市で行われる県総体に出場します。

## 小学部・中学一年 春の遠足

小学部担当 中山 小夜  
 小学部は、全校で海士町の明屋海岸へ出かけました。昨年度は、悪天候のため中止になってしまったこともあり、待望の遠足でした。遠足のめあての一つ目は「島前の自然や文化に触れよう」でした。明屋海岸では、隠岐しぜんむらの方とつしよに磯遊び体験を行い、砂浜の中にもいるダンゴムシをたくさん見つけました。隠岐の中でも、ハマダンゴムシの生態なども教えていただきました。これまで知らなかった島前の自然について、体験を通して楽しく学ぶひと時となりました。

めあての二つ目は「色々な人や友達と触れ合おう」でした。磯遊び体験後に、五・六年生企画の全校遊びを行いました。広い草原でのごっこでは、学年の枠を超えて、みんなが思いっきり走り回って遊びました。また、海岸へ行って水切りをしたり、段ボール滑りをしたりと、思い思いの遊びを時間いっぱい楽しみました。ここでしかできない体験や遊びを満喫し、ふるさと島前を肌で感じた一日となりました。

小学部二年 徳田 幸穂  
 きょうみんなでえん足に行きました。あきやかいに行きました。すなの中にもいるダンゴムシのはまダンゴムシをいっぱい見つけました。黄色いほう石も見つけました。はまダンゴムシはウジャウジャいたので、びっくりしました。わたしは一ばん大きいの見つけられたので、うれしかったです。

小学部四年 山根 優里  
 自然の勉強をして、浜ダンゴムシのことが分かりました。大きいのが小さいのがいました。手に乗せておくと、動き出しました。砂浜で探すのは大変でした。でも、海の近くにはいないことが分かりました。二つ目の宝石さがしは、どれか分かりませんでした。でも楽しくすごせたからよかったです。六年生が考えたおにごっこも楽しかったです。

小学部五年 永谷 妃菜  
 最初、浜ダンゴムシは本当に砂の中にいるの？と思いましたが、でも、いざ探してみると、砂の中から十ぴきくらい出てきたので、少しびっくりしました。浜ダンゴムシは知夫にもいるのか、探すのが楽しになりました。宝石さがしは、意外と見つけやすかったです。本当に小さなものだったけど、キラキラできれいでした。知夫にも、知夫だけの宝石があるのか知りたくなりました。





中学一年生の遠足は、男子が企画運営を行いました。わたつ浜では、男子の考えたゲーム（大声伝言ゲーム・ビーチフラッグ・魚釣り大会）をしました。どれも、工夫が施されていて、みんながとても楽しめるものになりました。この遠足では、島の子供たちならではの遊び（魚釣り）、野イチゴを摘んで歩くなど、知夫の自然をしっかりと味わえる時間となりました。また、子供たちが企画運営した遠足は考え工夫されており、いつもより素敵な遠足だと感じました。

中学部一年 野間 汐莉

今日は遠足がありました。男子が考えた遠足は、すごく楽しかったです。「わたつ海水浴場」の砂がものすごくキレイで持って帰りたいと思います。釣りは、思っていた以上に釣れて、面白かったです。この遠足でみんなと一段と仲良くなれたので、こんな企画をまたしたいです。楽しかったです。

中学部担当 石橋 里佳

## 小体連バスケット大会

担当 柴木 真和

四年ぶりに島前小体連バスケット大会が知夫で行われ、今年度は混成の部に出場しました。約一か月にわたって練習を行い、チーム「ちぶやん」として毎日走ってボールを追いかけました。

迎えた本番では、初戦に西ノ島小と戦いました。開始から練習で身に付けたプレーを出すことができ、見事勝ち進み決勝に進出しました。決勝の福井小戦では、最初のゴールが遠い試合となりましたが、キャプテンを中心に声を掛け合い、流れを掴んで勝ち切ることができ、優勝という結果で終わることができました。三年生もベンチで選手たちのサポートをすることができ、保護者のみなさんの力強い応援で勝った試合だったと感じました。本当にありがとうございました。

小学部四年 崎 拓夢

僕の目標は、「リバウンドをとる、声を出す、一回はシュートを決める」でした。大会ではリバウンドは相手に負けないように取れたし、何回も取れたのでよかったです。声は練習の時は出ていなかったけれど、本番では出せたのでよかったです。シュートは練習したとおりに入れられたのでよかったです。来年もシュートをたくさん入れたいです。



### 島前小体連バスケットボール大会結果

混成の部 優勝

小学部五年 永谷 妃菜

バスケット大会に向けて、わたしたち「ちぶやん」は約一か月間練習をしてきました。わたしは声がかなか出せませんでした。でも、大会当日、し合の笛がなり西ノ島小と戦うとき、最初のディフェンスでは練習したときよりもすごく良くできました。ファウルもしてしまっただけ、積極的に戦えたのでよかったです。来年はキャプテンになるので、練習から声を出していけるようにしたいです。そして優勝トロフィーをもう一度知夫に持って帰りたいです。

小学部六年 古谷 快己

ぼくは今年のバスケット大会はいい経験になりました。本番の初戦、西ノ島小戦では、自分たちの声が出ていたし、シュートも打てました。四年生にパスでつないでゴールをねらうこともできました。ゲームの流れにあわせて臨機応変に速攻やじっくり攻めるパターンを使い分けることができ、勝つことができました。福井小戦では、最初声が出ていなかったけれど、周りも見られたし、ディフェンスもプレッシャーをかけることができ、優勝することができて嬉しかったです。また、試合外でもチームのみんなが、あいさつなどの「ふるまい」を大切にすることができました。これからまだ色々な行事があり、六年生にとっては小学校生活最後になるので、悔いの残らないように頑張っていきたいと思っています。この大会で身に付けた「ふるまい」も大切にしていきたいです。



## 中学部学習の様子



【中一】道徳  
資料『みんなとんだ』や『席替え』で「多様性を受け入れて支え合う学級」をめざし学習しています。

【中二】総合的な学習の時間  
「働くとは？」をテーマに、たくさん意見を出し合いながら学習を進めています。



【中三】総合的な学習の時間  
各課の課長さんと「知夫の課題とは？」をテーマに質問をしながら考えを深めています。

